0120-981-268
お電話
通話料無料
[約1カ月分] 1日3粒(目安)
定
いるから圧倒的に効率的
(40代・会社員)
ごく数年で急激に変わってしまったもの
が、こんなにこの結果に感動しました!
(43歳・主婦)
家庭の食事を変えずに続けられるもの
で主婦でも続けられて、大助かり!
(36歳・主婦)

三瓶山 風の点描 ⑲

埋没林発掘
地層の変化 謎解きの鍵

林」。1998年に発見され、翌年から三瓶自然館に展示する標本の発掘が行われた。

発掘は掘り出すだけではなく、埋没林の謎

標本用の立木の発掘調査風景

森がどのように形成されたのか、これらの解明があってこそ当初の仮説では、埋没林は谷のせき止めで出来た湖に沈み、水底で静かに土砂に埋もれたと考えられていた。三瓶山の噴火が関係することは既に明らかだった。

発掘が進むと、予測通りに水底の地層が現れた。成因については結論が出たとも思われたが、深さ7㍍地点で地層が一変した。火砕流の層が現れたのだ。火砕流を受けなかったから焦げず、倒れずにる倒木と直立する立木。一見、矛盾する光景だった。

調査の結果、幾つかの偶然が重なり、埋没林は奇跡的に残ったことが判明した。また、立木の根元に残る落ち葉の層から、昆虫の羽などが出土した。そこからは原始の森の生態系が垣間見える。解き明かされた太古の物語をぜひ、現地で感じてほしいと思う。

(三瓶自然館企画情報課主幹・中村唯史)

合格通知を手に笑顔を見せる江津工業高の生徒たち

江津工高

建築・土木2級施工管理技術検定

学科試験に11人全員合格

夏から勉強 難関突破に笑顔

建築と土木の2級施工管理技術検定の学科試験に挑戦した江津工業高(江津市江津町)の建築科3年生計11人が、全員合格という快挙を成し遂げた。建設の現場監督などに必要な2級施工管理技士になるための第一関門の突破で、技術者養成に力を入れる教育の成果が表れたと、指導教員たちも喜んでいる。

生徒らは昨年の夏休みごろから試験勉強を始め、工事の方法や建築資材の特性、安全管理などの知識を蓄え、11月の建築検定に10人、10月の土木検定に1人が挑戦。高校生受験者の合格率は例年、建築が約20%、土木が約30%の難関だが、2月上旬に全員に合格通知が届いた。

合格者は建設現場などで実務を3年以上積んだ後、実技試験を受けて合格すれば、2級施工管理技士の資格を得る。

県外の建設会社へ就職する同科3年の徳原周作君(18)は「試験に合格したことは自信になった。先生に感謝したい」と笑顔。同科科長の山田晋吾教諭(47)は「生徒が頑張り、教える側としても、手応えを感じていた。資格取得は就職で有利になり、学校の魅力アピールにもなる」と話した。

手作りちく

浜田市港町の原井小学校の5年生児童35人

浜田　原井小児童　地元